

条幅部自由参考

11月25日正午必着

明石春浦先生書



満林黄葉雁聲多 (王士禛)

黄葉の林に帰雁のなく声がしきりである。

明石幸子書



小窓半夜青燈雨、幽樹一庭黄葉秋 (眞山民)

夜半、燈火ともる窓べに雨そそぎ、  
こんもりした庭樹は黄葉している。

菅井松雲先生書



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

柳色驚心事。春風厭索居。方知一椀酒。猶勝百家書。(高適)

柳色 心事を驚かし 春風 索居に厭く 方に知る 一椀の酒 猶お勝る 百家の書

江月照松風吹 (永嘉大師玄覺)

江月照らし松風吹く

けがれない境地。

殘燈明滅裏 遙夜夢醒時 起立庭前樹 孤懐明月知 (王瑤湘)

殘燈明滅の裏。遙夜夢醒るの時。起立す庭前の樹。孤懐明月ぞ知らん。

經周處士故居 (方干)

周處士が故居を経

愁吟與獨行 何事不關情

愁吟と独行と 何事か情に關わらざる

久立釣魚處 惟聞啼鳥聲

久しく釣魚の処に立ち 惟だ啼鳥の声を聞く

山蔬和雨歇 海樹入籬生

山蔬 雨に和して歇き 海樹 籬に入りて生ず

吾在茲溪上 懷君恨不平

吾れ茲の溪上に在りて 君を懷うて 恨み平らかならず

高原の月の光は 隈なく 落葉がくれの 水のおとすも (齋藤 茂吉)

半紙部規定課題A

11月25日正午必着

曉承  
過明  
候

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

11月25日正午必着

行書

承明候  
曉過

隸書

承明候  
曉過

明石春浦先生書

草書

承明候  
曉過

行草書

承明候  
曉過

建礼門のほとり、さわやかな秋の夜 承明廬に夜明けを待ちつつ過す  
九重の門の奥にひややかな漏刻の音も尽き 市街の処々より、曉の鐘があまた鳴り響く  
月の光ははるかに、真珠のような星をおおいかくし 雲は消え去って、天の川があらわれる  
いまさらながら慚ずかしく思う、この老い衰えた身を以て 南の街路に、貴方と玉飾りを鳴らしつつ駒を並べて行くのが

與崔員外秋直

王維

建礼 高秋夜

承明 候曉過

九門 寒漏徹

萬井 曙鐘多

月迴 藏珠斗

雲銷 出絳河

更慚 衰朽質

南陌 共鳴珂

崔員外と秋に直す

王維

建礼 高秋の夜

承明に 曉を候ちて過ぐ

九門 寒漏徹し

萬井 曙鐘多し

月迴かにして 珠斗を蔵し

雲銷えて 絳河出す

更に慚ず 衰朽の質の

南陌に 共に珂を鳴らすことを

(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より



維大魏延昌二年歲  
次癸巳二月丙辰朔  
廿九日甲申故處士  
元君墓誌銘  
君諱顯儻河南洛陽  
人也若夫太一玄象  
之原雲門靈鳳之美

維大魏延昌二年。歲

次癸巳。二月丙辰朔。

廿九日甲申。故處士

元君墓誌銘。

君諱顯儻。河南洛陽

人也。若夫太一玄象

之原。雲門靈鳳之美。

11月25日正午必着

維大魏延昌二年歲  
次癸巳二月丙・・・ 脛り

維大魏延昌二年。歲次癸巳。二月丙



歲次癸巳

北魏・元顯佛墓誌

墓誌は故人の姓名、経歴、行年、業績などを、後世に伝えるために石や銅板・磚などに記して墓に埋めたもので、中国では後漢時代から始まり、元の時代まで続いたとされる。故人と共にすぐに土中に埋められるため、損傷がほとんど無く、点画の鮮明なものが多い。

この墓誌は、北魏の延昌二年（五一三）の刻で、十九行・行二十一字、正方形が多いなか、この誌石は大変珍しく、亀の形をしており、甲羅の部分が蓋になっていて、墓名が刻されている。中華民国七年（一九一八）に洛陽から出土し、北京歴史博物館に蔵され、その後国立北平図書館に移置された。

緻密で理知的な結構法で点画の切れ味鋭く、後の唐代における楷法の完成期に繋がる資料として、北魏の墓誌の中でも特にすぐれたものとされる。

※博：まるくて平らなかわら。

（春濤）

11月25日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

げいじゅつさく ひん  
芸術作品

中学一年



菅井松雲先生書

わ よう せつちゅう  
和洋折衷

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



よろこ 喜びの 声

小学五年

榎戸春龍先生書



つよ 強い 信念

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



11月25日正午必着



とけい<sup>だい</sup>台

小学三年

藤田幸春先生書



千<sup>せん</sup>羽<sup>ぼ</sup>づる

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

す し 小学一年・幼年



森戸春濤書

こ ね こ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

犬と散歩をした	天気が良いので愛
---------	----------

小学五年

みを持った一寸法師	小さな体に大きな望
-----------	-----------

小学六年

放心を求むるにあり	学問の道は他なし其の
-----------	------------

中学

より一つの行為である	心に残るのは千の忠告
------------	------------

一般(級位)

秋の夜に雨ときこえて降るものは風にしたがふ紅葉なりけり(紀貫之)	秋の夜に雨ときこえて降るものは
----------------------------------	-----------------

一般(段位)

秋の夜に雨ときこえて降るものは風にしたがふ紅葉なりけり(紀貫之)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

た	あ
べ	か
ま	い
し	り
た	ん
	ご
	を

幼年

つ	足
け	も
て	と
あ	に
る	
っ	き
う	を

小学一年

れ	早
ん	口
し	こ
ゅ	と
う	ば
で	の
す	

小学二年

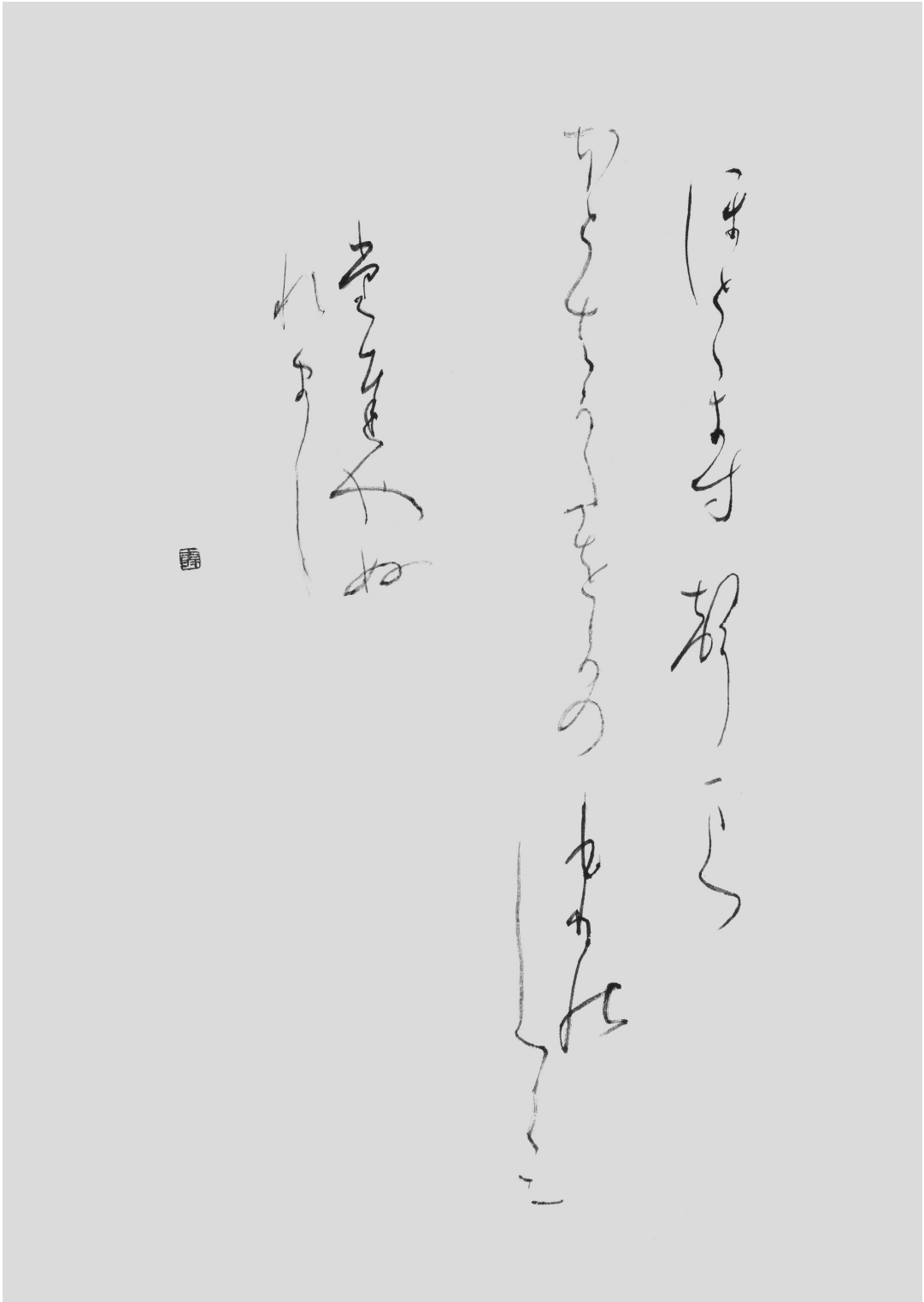
本	大
が	切
な	に
く	し
な	て
っ	い
た	た

小学三年

ら	宿
遊	だ
び	い
に	を
行	終
き	え
ま	て
す	か

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

ほととぎす  
支寸  
 聲声  
 まつほどは  
万本者  
 かたをかの  
可多可  
 もりのしづくに  
毛利能  
 たちやぬれまし  
堂運末  
 (新古今集・紫式部)